

＜ 群馬県教育委員会 オンラインサポート授業 ＞
外国語「be 動詞①」【要点資料】

学習の要点

自分のことを紹介する文や相手のことを尋ねる文について言えるようになろう。

【ポイント①：肯定文】

I am Takeshi.

(私はタケシです。)

I'm from America. 〈I'm ← I am の短縮形〉

(私はアメリカ出身です。)

○「～は…です。」という文を肯定文と言います。

○文の始めに来て「～は」「…が」という意味を表す語句のことを『**主語**』と言います。

○主語の後に来て「～する」「～です。」という意味を表す語句のことを『**動詞**』と言います。

am や are は「be 動詞」と言われています。

○英語は語順がポイントとなります。[**主語** + **動詞** + その他の語句.] という語順になります。

【ポイント②：疑問文】

You are from America.

(あなたはアメリカ出身です。)

Are you from America?

(あなたはアメリカ出身ですか。)

Yes, I am. / No, I'm not. 〈I'm ← I am の短縮形〉(はい、そうです。/ いいえ、違います。)

○「～は…ですか。」とたずねる文を疑問文と言います。

○疑問文では、be 動詞「are」が主語「you」の前に出て、最後にクエスチョンマーク(?)を付けます。

[**動詞** + **主語** + その他の語句 **?**] という語順になります。

【ポイント③：否定文】

I'm not from America. 〈I'm ← I am の短縮形〉

(私はアメリカ出身ではありません。)

○「～は…ではありません。」という文を否定文と言います。

○否定文では、be 動詞「am」や「are」の後ろに not をおきます。

[**主語** + **動詞** + **not** + その他の語句.] という語順になります。

【練習問題】 次の日本語を英語にしましょう。

① 「私は群馬 (Gunma) 出身です。」

② 「あなたは中学生ですか。」と、この問いに対するあなた自身の答え

【解答例】

① I am from Gunma. (I'm from Gunma.)

② Are you a junior high school students? Yes, I am. / No, I'm not.

学習のまとめ

自分のことを紹介する文 : I am ~.

相手のことをたずねる文 : Are you ~? 答えるとき : Yes, I am. / No, I'm not.